

2025年7月1日

株式会社岩手銀行

「グリーン預金」の取扱い開始について

岩手銀行（頭取 岩山 徹）では、環境・社会課題の解決に向け、お預け入れいただいた預金を再生可能エネルギー分野におけるファイナンスに充当することに限定した「グリーン預金」の取扱いを開始しますのでお知らせします。

グリーン預金の募集にあたっては、「岩手銀行グリーン預金フレームワーク」を策定し、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、グリーンボンド原則の趣旨に準じる旨のセカンドオピニオンを取得しております。なお、フレームワークを活用したグリーン預金は県内の地方銀行では初の取扱いとなります。

当行では今後も経済と環境の好循環を創造し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

■ グリーン預金の概要

対象のお客さま	法人のお客さま
募集期間	2025年7月1日（火）～2025年12月30日（火）
募集金額	50億円（募集金額に達した場合は受付を終了します）
対象取引	大口定期預金
預入期間	1年
最低預入金額	1,000万円
グリーン預金充当先	再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス発電）への融資
第三者評価機関	株式会社格付投資情報センター

※ 「岩手銀行『グリーン預金』フレームワーク」は次ページ以降に掲載しています。

※ セカンドオピニオンは株式会社格付投資情報センターのホームページに掲載されております。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

営業戦略部 法人企画 栗田、佐々木、佐藤 電話：019-623-1111

岩手銀行 グリーン預金

応募期間 2025年7月1日(火)～12月30日(火)

お客さまからお預かりした資金を「再生可能エネルギー」に関するプロジェクトを対象とする融資に充当します

- 岩手銀行は、2019年に持続可能な地域社会の実現への貢献を意図した「いわぎんグループSDGs宣言」を策定し、サステナビリティに係る取組みを展開してまいりました。
- グリーン預金の募集開始にあたり、「岩手銀行グリーン預金フレームワーク」を策定し、本フレームワークについて第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターよりセカンドオピニオンを取得しております。

グリーン預金の商品概要

対象のお客さま	法人のお客さま
募集期間	2025年7月1日(火)～2025年12月30日(火)
募集金額	50億円 (募集金額に達した場合、受付を終了します) (当行定期預金からの預替えは対象外となります)
最低預入金額	1,000万円以上
預入期間	1年
適用金利	お預入れ日時点での大口定期預金の店頭表示金利
利子課税	総合課税
グリーン預金充当先	再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス発電)への融資
第三者評価機関	株式会社格付投資情報センター

詳しくは、最寄りの<<いわぎん>>窓口にお問い合わせください。

裏面に商品概要の詳細やご留意いただきたい事項を記載しておりますので、必ずお読みください

「グリーン預金」商品概要

- お申込金額は1,000万円以上で、募集期間と募集金額を限定した商品です。
- お預入れ期間は1年のみとなります。
- 新たなご資金によるお預入れに限定します(当行定期預金からの預替えは対象外となります)。
- 適用金利は、お預入れ時点での大口定期預金の店頭表示金利となります。金利は、当行ホームページや窓口にてご確認ください。
- グリーン預金は、ご通帳への記載は通常の大口定期預金と同様の内容となります。
- 満期日以降(自動継続後)は、通常の大口定期預金として取扱いいたします。
- 定期預金の中途解約は、原則お取り扱いできません。やむを得ず中途解約する場合には、当行所定の中途解約利率を適用します。
- 定期預金は、預金保険制度の保護対象で、同保険制度の範囲内で保護されます。

「グリーン預金」についてご留意いただきたい事項

- グリーン預金を充当する融資は、「岩手銀行グリーン預金フレームワーク」(当行ホームページに掲載)に基づき、当行が選定します。
- グリーン預金へのお預入れは、募集期間中であっても、募集金額に達した場合は受付を終了いたします。
- グリーン預金としてのお取扱い(資金用途を環境融資に限定したお取扱い)は、初回預入期間のみとなります。満期日以降(自動継続後)は、通常の大口定期預金となり、資金用途は限定されません。
- 対象となる融資残高がお預かりしているグリーン預金の合計受入金額を下回る場合、対象となる融資に充当するまでは現金または現金同等物に充当いたします。
- その他、詳細につきましては、「岩手銀行グリーン預金フレームワーク」をご覧ください。

「グリーン預金」についてのレポートニング

- グリーン預金の環境融資への充当状況や環境改善効果等については、少なくとも1年に1回以上、当行ホームページにて公開いたします。

「グリーン預金」申込欄

- グリーン預金のお預入れを希望されるお客さまは、下記に必要事項をご記入のうえ、お預入れ時にご提出をお願いいたします。
- グリーン預金をお預入れいただいたお客さまのうち、ご希望があった場合のみ、当行ホームページにて公表させていただきます。掲載内容は、ご住所(市町村まで)、会社名とし、お預入れ金額は掲載いたしません。

ご住所(市町村まで)		
会社名		
自社の自由意思にもとづく預入申込みである	☐ はい	☐ いいえ
当行ホームページへの掲載	☐ 希望する	☐ 希望しない

岩手銀行「グリーン預金」フレームワーク

はじめに

岩手銀行は、2019 年に持続可能な地域社会の実現への貢献を意図した「いわぎんグループ SDGs 宣言」を策定し、サステナビリティに係る取組みを展開してまいりました。2023 年 3 月には、向こう 10 年の長期ビジョン「お客さまの課題解決と地域社会の持続的成長を牽引する価値共創カンパニー」を定め、実現のためのマテリアリティの特定を実施しています。特定したマテリアリティのうち、成長分野の一つに「脱炭素社会実現に向けた先導的・革新的対応」を掲げ、環境対応に資するファイナンス支援や取引先の環境課題解決のほか、再エネ事業への参画などの活動に取り組んでいます。

1. グリーン預金の位置付け

(1) サステナビリティへの取組み

岩手銀行では、お客さまの環境・社会課題解決、脱炭素社会実現に向けたファイナンスを「サステナブルファイナンス」と位置付け、取組みを強化してまいりました。今回取扱いをする「グリーン預金」は岩手銀行のサステナビリティへの取組みにおいて、預金と融資をつなげる形で実践するものです。

(2) グリーン預金の概要

グリーン預金は、お客さまからお預かりする資金を、再生可能エネルギー分野におけるファイナンスに充当することで、お客さまに ESG/SDGs 分野での取組み機会を提供する預金です。

(3) 商品概要

- ① 募集対象：法人
- ② 最低預入額：1,000 万円以上
- ③ 預入期間：1 年
- ④ 適用利率：大口定期預金の店頭表示金利

2. グリーン預金の資金使途

(1) 充当予定の資金使途

本グリーン預金による調達資金は、以下の適格基準を満たすプロジェクト（適格プロジェクト）への新規および既存の融資案件に充当する予定です。調達資金の全部または一部を既存の融資案件に充当する場合、遡って 3 年以内に実行された融資案件を対象とします。

(2) 適格プロジェクト

カテゴリー	資金使途
再生可能エネルギー	太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電（※1）、小規模水力発電事業向け設備融資 （太陽光、風力、水力発電に要する土地の購入、太陽光パネル、パワーコンディショナー、発電モニター、蓄電池等の関連設備等の購入・設置、保守・管理にかかる投資を含む） ※1 持続可能な原料または廃棄物由来のものに限る。

(3) ネガティブインパクト

岩手銀行では、サステナビリティ方針を踏まえ、環境・社会に対して負の影響を助長する可能性の高い、特定セクターへの融資を制限する方針を明確化しています。

3. 適格プロジェクトの評価と選定プロセス

(1) 環境面の目標

岩手銀行グループでは、地域の脱炭素社会実現に向けた先導的・革新的対応、グリーントランスフォーメーションを重点分野の一つとしており、サステナブルファイナンスの目標実行等累計額を「2021年度から2030年度までに5,000億円」と設定しました。

また、お客さまの脱炭素支援だけでなく、自らの脱炭素への取り組みも加速させるため、岩手銀行グループにおけるCO₂排出量（Scope1,2）削減目標を「2030年度までにネットゼロ」としました。目標達成に向けて、本店本館・別館では2023年4月より岩手県内水力発電由来のCO₂フリー電力を使用しています。今後も営業店でのCO₂フリー電力の使用や低年式車の入れ替え、高効率な空調への切り替え、設備の電化等の省エネ施策を実施していきます。

(2) グリーン預金の資金使途の評価・選定のプロセス

資金使途の選定にあたっては、「いわぎんグループSDGs宣言」、岩手銀行グループのサステナビリティ方針を考慮し決定しました。対象案件の適合性の確認は、本件の所管部である営業戦略部および関連部署にて実施します。

4. 調達資金の管理方針

(1) 調達資金の管理方法

グリーン預金による調達資金の充当管理は営業戦略部が行います。本グリーン預金による調達資金総額、使途への充当済資金、未充当資金は、電子ファイルにて管理します。全ての調達資金が充当されるまでの間は、未充当額と充当額の合計が調達資金全額と整合するように管理し、これらの確認はグリーン預金から対象使途への資金充当があった都度実施します。全てのグリーン預金による調達資金が充当された後は、調達資金額が調達資金から使途へ充当された累計額と一致するよう、また、使途へ充当された累計額が預

金資金額を上回るように管理することとします。

(2) 未充当資金の運用方法

未充当金額が発生した場合には、現金または現金同等物、短期金融資産等で運用します。

5. レポーティング方針

(1) レポート方法

本グリーン預金による調達資金の使途に対する充当状況や環境改善効果等については、少なくとも1年に1回以上、岩手銀行のWEBサイトにて開示します。また、本グリーン預金による全ての調達資金が使途に充当された後においても、大きな状況の変化が生じた場合は適宜開示します。

(2) 開示内容

レポートには以下の内容を含む予定です。

開示項目	内容
充当状況	・ 充当したプロジェクトの内容 ・ グリーン預金残高 ・ 融資残高 ・ 未充当金額
環境改善効果	CO ₂ 排出削減（実績または見込み）量（t-CO ₂ ）

(3) レポーティング体制

年度レポートは、営業戦略部が主管して作成することとし、預金調達資金に関する情報収集・記載事項の確認、環境改善効果に関する情報収集・記載事項の確認を実施します。